滋賀 産業新聞

発行所
株式会社ＳＩＮ
「地方建設専門紙の会」会員
www.s-sangyo.co.jp/
本　社
〒520-0801
大津市におの浜１－１－18
滋賀県建設会館 ２Ｆ
ＴＥＬ（077）526-3630
ＦＡＸ（077）524-9660
購読料（1ヵ月）10,368円〔税込〕
（1部）638円〔税込〕
購読・見本紙の申し込みは
0120-232838
フリーダイヤル

高島市 やすらぎ荘の改修工事

5月頃発注目指す

概算工事費約2.5億見込む

子ども家庭総合支援拠点化 設備分離で指名入札予定

現在の高島市新旭総合福祉センター

高島市子ども家庭相談課は、新旭町北畑にある新旭総合福祉センターやすらぎ荘について、子ども家庭総合支援拠点施設へと改修整備を計画している。

今後のスケジュールは、実施設計を23年2月にも取りまとめ、早ければ同年5月頃の工事発注を目指して進めていく。発注方式は指名競争入札を予定しており、建築工事、電気設備、機械設備の分離型で行う。

工事期間は、23年12月末の完成を予定しており、24年の年明けにも、子ども家庭総合支援拠点施設の運用開始を目指す。

概算工事費は、設計の段階で約2億5000万円を見込んでいる。

工事内容については、高島市新旭町北畑45―1にある新旭総合福祉センターにおいて、児童及び妊産婦の支援を行うための「子ども家庭総合支援拠点」の設置にあたり、既存の新旭総合福祉センターを改修整備する。改修面積はA1355・69平方㍍で、建築部分では、事務室・活動室・相談室・会議室・研修室・浴室・トイレ等の設置、壁面全面改修、床は全面補修もしくは交換、建具導入、内装クロスの全面補修もしくは交換などに着手する。機械設備と電気設備については、不要設備の撤去、用途に応じた設備設置、照明器具交換、放送設備交換、自火報設備交換、電話機設置など整備。

なお、子ども家庭総合支援拠点施設整備工事実施設計業務は、安原篤司建築事務所（高島市）が担当している。

きょうの紙面

◇県企業庁は吉川浄水場系管路等最適化検討など2件について、簡易型一般をきょう公示する（2面）
◇県内の建築確認申請（3面）
◇入札情報、入札結果（4―5面）
◇クスリのアオキは草津市で草津下物店新築を計画、秋村組で着工準備進む（6面）

子どもたちを想いはがきを寄贈する
奥井代表取締役（右）

奥井グループ 島小学校生徒に書く喜びを

年賀はがき無償配布

心瑛・奥井代表取締役 最大限地元にお返し

柔軟な発想で高品質なサービスを提供する奥井グループ（奥井敦史代表・近江八幡市島町1634）は16日、子どもたちにはがきを書く喜び・手紙の文化を知って貰いたいとの考えから、日本郵便㈱協力の下、近江八幡市立島小学校の児童に年賀はがきを無償で配布した。

当日は、グループ企業である㈱心瑛の奥井美香代表取締役と日本郵便近江八幡島郵便局の熊川隆治局長らが同校を訪問。上野智士学校長に全生徒分のはがきを直接手渡した。その際、奥井代表取締役は「地元から必要とされている限り、最大限皆様の要望にお応えして、地元にお返ししていきます」と話し、「同グループは今後も社会貢献活動を続けていきます」と力強く宣言した。

奥井グループは、一次産業と福祉の連携（農福連携及び水福連携）による地域活性化事業を展開しており、グループが所有する施設、近江八幡運動公園に隣接する農地（同市津田町21番1他9筆、3万5994平方㍍）に、きくらげ栽培施設を設置し、農福連携の国産きくらげ生産とその加工販売を実施している。そして、琵琶湖漁業権を持つ同グループでは、琵琶湖の漁業の担い手を若い世代で活性化出来る様にグループ全体で事業を推進、更に、運営する長命寺温泉「天葉の湯」（同市長命寺町）を活用して、自社で漁獲した琵琶湖の恵みをたっぷりと味わえる様々なメニューを提供するなど、スケールの拡大を進めているところ。日本初の試みとなる、農業と水産業の両方を兼ね備えた連携事業で地域を牽引する同グループの今後の活躍が注目される。

年末年始発行のお知らせ

滋賀産業新聞は年末年始休暇に伴い、28日(水)付をもちまして年内の発行を終了いたします。

なお、新年5日(木)付は新春特別号、6日(金)付より通常発刊となります。令和5年も引き続きご愛読の程、よろしくお願い申し上げます。

㈱ＳＩＮ

建設労働者のための国の制度
勤労者退職金共済機構建退共
滋賀県支部
大津市におの浜一丁目一番十八号
電話〇七七（五二二）三二三二㈹